

2022年10月27日

マルハニチロ株式会社が発行する「ブルーボンド」への投資について

株式会社テクノ菱和（代表者：黒田英彦、以下「当社」という）は、このたび、マルハニチロ株式会社（以下、「マルハニチロ」という）が発行するブルーボンド（マルハニチロ株式会社第1回無担保社債、以下「本債券」という）への投資を実施しましたので、お知らせします。

「ブルーボンド」とは、グリーンボンド原則とグリーンローン原則の枠組みを用いて、海洋と沿岸の保全強化と汚染のない水資源増加に向けた資金調達を促進するために策定された IFC「ブルーファイナンスのガイドライン」に則り、海洋に優しいプロジェクトと汚染のない水資源を保護する取り組みへの投資を用途する債券のことで ESG<sup>(1)</sup>投資の対象となります。ブルーボンドで調達した資金は、下記のプロジェクトに関連する新規支出へ充当します。

(1) ブループロジェクト

サーモン陸上養殖事業

当社は本債券への投資を通じて、国連の持続可能な開発目標(SDGs)<sup>(2)</sup>の内、目標2「飢餓をゼロに」、目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標6「安全な水とトイレを世界中に」、目標7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」、目標8「働きがいも経済成長も」、目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、目標12「つくる責任つかう責任」、目標13「気候変動に具体的な対策を」、目標14「海の豊かさを守ろう」、目標15「陸の豊かさを守ろう」、の達成に貢献します。

当社は、本債券を始めとしたグリーンボンド(ブルーボンド)、ソーシャルボンド、トランジションボンドへの投資を継続的に実施することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

<本債券の概要>

銘柄	マルハニチロ株式会社第1回無担保社債
年限	5年
発行額	50億円
発行日	2022年11月2日

(1) ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

(2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

